

(お 知 ら せ)



平成20年 3月 5日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

1. 運転状況について (3月 5日現在)

() 内は定格電気出力

1 号 機 沸騰水型 (3 5 万 7 千 kW)	運 転 中
2 号 機 加圧水型 (1 1 6 万 kW)	平成19年8月26日より 第16回定期検査中 (定期検査の工程表は別紙1のとおり)

2. 故障等の状況について (平成20年 2月 6日～平成20年 3月 5日)

(1) 法律に基づく報告事象

な し

(2) 安全協定に基づく異常時報告事象

な し

(3) 保全品質情報等

○敦賀発電所1号機 床ドレン収集タンク出口配管の減肉について

新廃棄物処理建屋において平成18年9月に床ドレン受タンク下流側にある配管で腐食減肉による漏えい^{*1}が認められたことを踏まえ、平成20年1月以降、計画的に同タンク上流側にある床ドレン収集タンクまでの範囲の配管曲がり部について肉厚測定を行っていたところ、平成20年2月5日、必要最小肉厚(3.4mm)を満足しない部位が2箇所(3.0mm、3.2mm)あることを確認しました^{*2}。

今後、当該部を新品に取替えます。また、引き続き、同範囲にある配管曲がり部の健全性確認を行うとともに、予備の移送配管等についても健全性確認を行います。
なお、本事象による周辺環境への影響はありません。

^{*1} 平成18年9月5日、新廃棄物処理建屋の床ドレン受タンク出口配管の下部床面に約20cm四方の水溜りとその周辺に約20cm四方の水漏れ跡、また、同タンクの循環配管の下部床面に約30cm四方の水漏れ跡が確認され、溜り水には、極微量(0.256Bq)の放射能が検出されました。

漏えいの原因は、配管曲がり部の溶接線近傍で廃液中に含まれる塩化物イオンによる腐食減肉が進展し、貫通して漏えいに至ったと推定しました。

対策として、漏えいが発生した配管を新品に取替えました。

(平成18年9月15日にホームページでお知らせし、その後、原因調査及び対策を実施しました。)

^{*2} 敦賀発電所1号機は第31回定期検査を終了し、平成19年10月31日より営業運転を継続中です。

(平成20年 3月 5日 公表)

3. 敦賀発電所3, 4号機準備工事について(3月 5日現在)

(1) 防波堤・護岸等の構築

冬場は高波浪期のため、海域工事は休止しています。再開は今月末頃の予定です。

(2) 敷地造成工事

背後山地の切取工事を実施するとともに切取土による埋立工事を実施しています。

4. その他

(1) 敦賀発電所における保管物品の紛失について

資材倉庫で保管していた雑固体減容処理設備の部品1個^{*1}、配管3本^{*2}が、所在不明であることを、平成20年2月13日に確認しました。

このため、当該物品について、発電所構内を捜索するなど調査を行っていますが、現在のところ、当該物品の所在が確認されておりません。今後、発電所で保管する物品の所在確認調査を引き続き実施してまいります。

当社としては、平成19年5月に確認されたステンレス配管の紛失に鑑み、物品搬出入の管理強化を図っているところですが、今回の事象発生は、誠に遺憾であり、今後とも再発防止に努めてまいります。

*1: 雑固体減容処理設備の熔融炉に廃棄物を投入する設備の先端部のステンレス・銅製部品で、直径約88cm、長さ約65cm、厚さ約1.4cmの円筒形状、重さ約600Kgで、交換用の予備部品。

*2: 直径約22cm、長さ3mのステンレス配管2本、直径約22cm、長さ4mの炭素鋼配管1本、重さそれぞれ約300Kg、1号機の取替用予備配管で、現時点では使用予定はありません。

(平成20年 2月19日 公表済)

(2) 敦賀発電所におけるピアレビューの実施について

日本原子力技術協会(原技協)によるピアレビューが、3月3日(月)~3月14日(金)で実施されます。

これは、原子力発電所の運営を熟知した、原技協の技術者や、電力会社等から派遣された技術者によって構成されたチームが、敦賀発電所の安全に関する取組みなどをレビューする目的で実施されるものです。

当社は、この第三者的な評価を受け、必要な業務改善を図り、一層の発電所の安全性と信頼性の向上に努めて参ります。

・実施内容 レビューチームにより、6分野についてレビューを行います。

- | | | |
|----------|--------|-------|
| ①組織と管理体制 | ②運転 | ③保修 |
| ④技術支援 | ⑤放射線防護 | ⑥運転経験 |

(平成20年 2月25日 公表済)

(3) 発電設備総点検結果の再発防止対策への取組み状況について

東海第二発電所、敦賀発電所 1 号機及び 2 号機の発電設備の 15 件の不適切な事案に対して、昨年 5 月 21 日に新行動計画として 25 項目の再発防止対策を策定しました。現在トップマネジメントのもと安全第一を最優先に、全社一丸となって再発防止対策の実施に取り組んでおり、平成 19 年度第 3 回保安検査にて確認を受けた項目について当社ホームページに掲載いたしました。

当社ホームページアドレス : <http://www.japc.co.jp/>

(4) げんでんふれあいギャラリー

＜個人・グループでの芸術活動、趣味の発表の場としてご利用頂いております。＞

1) 「五人の会」写真展

〔「五人の会」(代表：吉田 俊雄様)の皆様による写真展です。「五人の会」は職場の写真愛好家が集まってできたグループです。風景や伝統行事等の写真を 39 点展示しています。〕
(2/26～3/9)

2) カリコール絵画展 ～夢をかたちに すばらしい仲間たち～

〔敦賀市生涯学習センター洋画教室「カリコール」(代表：増田 貢一様)の皆様による絵画作品展です。毎週水曜日に西公民館で活動されています。油彩、水彩、パステル、デッサン、アクリル、ペン画等を約 30 点展示予定です。〕
(3/11～3/23)

3) 第 11 回(平成 19 年度)小学生人権ポスターコンテスト入賞作品展示会

〔福井地方法務局・福井県人権擁護委員連合会主催による、福井県内の小学校 5・6 年の児童を対象とした人権ポスターコンテストの入賞作品展です。敦賀人権擁護委員協議会管内(敦賀市、美浜町、若狭町)の小学校からの入賞作品を約 50 点展示予定です。〕
(3/25～3/3)

4) わたしたちのビーズスタイル No. 8

〔ビーズ工房(代表：田中 喜美枝様)の皆様による、ビーズアクセサリーの作品展です。現在約 30 名の方がビーズアクセサリーの制作・技術の向上に取り組んでおられます。ビーズアクセサリー・小物・マスコット等約 1,000 点展示予定です。〕(4/1～4/13)

(5) げんでんふれあい福井財団イベント

＜福井県内の芸術・文化振興活動として以下の事業を実施します。＞

○げんでんふれあいコンサート (3/20)

コロッケコンサート 昼の部 開場 14:00 開演 14:30

夜の部 開場 18:00 開演 18:30

於：敦賀市民文化センター

チケットは、「げんでんふれあい福井財団」にて販売しています。

(6) 次世代層への教育支援活動関連イベント

＜次世代層への環境・エネルギー等に関する教育支援活動として、以下の事業を実施します。＞

○ “げん丸塾” 体験学習「星空観察と科学の不思議、体験の旅」

〔星空観察、科学館見学 対象：げん丸塾生（会員制）〕

於：大塔コスミックパーク星のくに（奈良県）、大阪科学技術館（大阪府）
(3/25～26 一泊二日)

以 上

敦賀発電所2号機第16回定期検査の作業工程

